

教育学部

教育学科 乳幼児発達学科

人材養成等教育研究に係る目的

教育学部では、全人教育の理念のもとに、教育・保育現場で活躍できる質の高い教員・保育者を養成するとともに、現代社会において教育関連分野に貢献できる人材養成を目的とし、教育・保育現場で求められる実践的指導力、社会の変化やニーズに対応できる総合的な課題解決能力、平和で豊かな社会の実現に積極的に寄与できる社会力、そして専攻する分野における幅広く深い専門力を備えた、人間性豊かな教員・保育者や社会人を育成することを目指している。そのために必要とされる、基礎的・専門的学力とともに、人間や社会への理解や愛情、規範意識（モラル）、教育や職務への使命感・責任感、自ら研鑽に努める意欲、実社会におけるリーダーシップ等の諸能力の獲得を図っている。

教育学科は、子どもを深く理解し、主として学校教育に関する専門的知識や技能並びに教職における実践的な指導力を併せ持った教員養成とともに教育関連分野に貢献できる人材養成を目指す。

乳幼児発達学科は、子どもを深く理解し、幼児教育・保育に関する専門的知識や技能とともに実践的な指導力を併せ持った、乳幼児が通う保育所、幼稚園、認定こども園、児童福祉施設等において活躍できる保育者養成とともに、社会的なニーズに応えられる子育て支援に関わる人材養成を目指す。

教育学部 ディプロマ・ポリシー

「人材養成等教育研究に係る目的」に向けて次の学習成果を果たした者に学位を授与します。

- ① 全人教育の理念に基づき、幅広い視野を持ち、教育・保育にかかわる諸問題を多面的かつ生涯発達の視点から捉えることができる。(全人教育)
- ② 教育・保育に携わる者および社会人として基礎的な言語操作力、数理分析力を確実に身に付け、教育・保育に関する確かな専門的知識を修得している。(基礎的・専門的学力)
- ③ 教育・保育活動に取り組むための教育学的な知見に基づいた実践的な技能・表現を身につけ、教育や保育の場で活かす力を身に付けている。(理論に基づいた実践力)
- ④ 教育・保育に関する専門的な知識に基づき、自ら課題を設定し、研究を重ねることにより、教育・保育における現代的課題について自ら考察し、解決のための方途を立案し、実践に向けて主体的、創造的、協同的に取り組むことができる。(専門力・論理的思考力・課題解決能力)
- ⑤ 教育学の視点から様々な社会的諸問題に主体的に関心を持ち、コミュニケーション能力に基づく社会性・共感性を備え、多様な人や文化を理解し、共生できる力を身に付け、組織や社会においてリーダーシップを発揮できる。(共生力・社会力)
- ⑥ 教育や保育および教育・福祉関連分野におけるヒューマン・サービスの社会的意義と特性を理解し、豊かな人間性と使命感をもって子どもの成育や福祉に関する分野において貢献できる。(人間力)